



【制作会社向け】品質チェックに対する考え方


コーダーの心得


1. 文字色・背景色・余白・サイズなどにおいてデザイン通り再現をする
2. 実装した内容を細部までチェックする
3. 勝手にデザインを変更しない（先方に確認をとる）
4. 進捗報告を適宜行う
5. デザインに疑問を感じる部分や実装が自力で難しい部分は先方がわかりやすいようにまとめ、必ず相談する
6. コーディングは制作において最も重要な部分であることを理解し対応する
7. 納期厳守！

チェックリスト

- ☐ （全ての幅）表示崩れチェック
- ☐ 端末・ブラウザ確認（Chrome、FireFox、Safari、Microsoft Edge）
- ☐ ピクセルパーフェクトによる確認

actPixel by WellDoneCode (pixel perfect)
extension helps develop your websites with pixel perfect accuracy!

 <https://chrome.google.com/webstore/detail/perfectpixel-by-welldonec/dkaagdgmdbnecmcefdhjekcoceb>




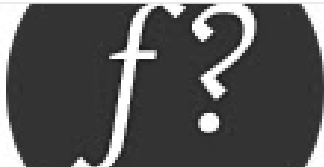
- ☐ JavaScriptの挙動確認およびコンソールエラーチェック

検証ツールのコンソールタブ、各挙動は手動により確認

- ☐ リンクチェック（※aタグのクリック領域が文字だけはNG。ボタンならボタン全体に。）
- ☐ フォントの表示確認

WhatFont
easiest way to identify fonts on web pages.

 <https://chrome.google.com/webstore/detail/whatfont/jabopobgcpjmedljpbcaablplmfcogm?hl=ja>



- ☐ HTML構文チェック

W3C Markup Validation Service

's easy-to-use markup validation service, based on SGML and XML parsers.

<https://validator.w3.org/>



☐ CSS構文チェック

W3C CSS Validation Service

W3C Cascading Style Sheets (CSS) and (X)HTML documents with style sheets

<https://jigsaw.w3.org/css-validator/>



☐ 閉じタグチェック

ILエラーチェッカー

ILの開始・終了タグの過不足などを検出する拡張機能です。エラーがある場合、数値が表示されます。JSでソースを確認するので、外部送信は行ってません。※formがあるページで挙動がおかしくなる場合は、一時的にオフにしてください。

<https://chrome.google.com/webstore/detail/html%E3%82%A8%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%83%81%E3%82%A7%E3%83%83%E3%82%AB%E3%83%BC/ohdlebchmponnofchalfkegpojcaf/related?hl=ja>



☐ 画像2倍書き出し + 画像圧縮 (gulpでも可とする)

PNG - Compress PNG images while preserving transparency

Excellent question! Let me give you a side by side comparison. Below are two photos of my cousin. The left image is saved as 24-bit PNG directly from Adobe Photoshop. On the right is the same image processed by TinyPNG. Spot any difference? Excellent question!

<https://tinypng.com/>

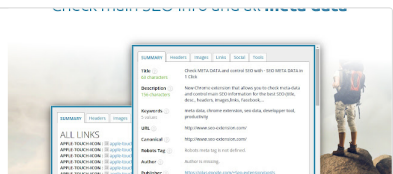


☐ 見出し等の確認

SEO META in 1 CLICK

Checks all meta data and main SEO information for the best SEO

<https://chrome.google.com/webstore/detail/seo-meta-in-1-click/bjogjfinolnhfhkbpiphdpdlldadpnmhc/related>



表示崩れチェック

デザインカンプの幅だけではなく、デザインカンプより大きい幅、狭い幅でも十分に注意し確認を行う。

ブレイクポイントの参考：<https://hashimotosan.hatenablog.jp/entry/2020/12/06/182327>

【図解で納得】レスポンシブデザインのブレイクポイントの細かすぎる新解釈 [2021最新版] - webのあれこれ
MacBookもM1チップでProじゃなくAirで十分みたいになっていて、大きさやスペックが大きければいい時代は終わって、自分に合ったものを選ぶ人がより増えてきたように感じています。前回は2019年5月にレスポンシブデザインのブレイクポイントの記事を書いて、今でもたくさんのアクセスがあり、たいへん嬉しく思っています。そこで今回2021年に
① <https://hashimotosan.hatenablog.jp/entry/2020/12/06/182327>



PCで確認できるサイズ (Chrome) で確認できるサイズは必ずチェックする

- ☐ 1920px以上
- ☐ 1919px ~ 1441px
- ☐ 1440px ~ 1025px
- ☐ 1024px ~ 768px

□ 767px ~ 375px

□ 374px ~ 320px

※デザインカンブの幅だけではダメです。

端末・ブラウザ確認

所有している端末で必ず確認を行います。

一般的な対象ブラウザ

- Chrome
- Safari
- FireFox
- Microsoft Edge



チェック出来ていないブラウザは必ず報告する。
スマホ対応のブラウザもすべて確認する。

以下は、私の環境での例です

ブラウザチェック

Aa 端末	≡ ブラウザ
<u>MacBook Pro 16インチ</u>	Chrome FireFox Safari
<u>WindowsPC</u>	Chrome FireFox Microsoft Edge
<u>iPad Air 2</u>	Chrome Safari
<u>iPhone12 mini</u>	Chrome FireFox Safari
<u>Android_HUAWEI P30 lite</u>	Chrome FireFox

表示確認方法とその報告方法について

デザインカンブの画像を重ねて確認します。

特に以下に注意します。

- コンテンツの幅はデザインカンブとあっているか
- marginおよびpaddingはデザインカンブとあっているか（※カンブから読み取る数字と実際の入力する数字が異なることはよくあるため）
- 画像を重ねたときに文字は一致しているか（誤字脱字がないか）
- 明らかに大きくズレていないか



極力合致させるのがコーダーの役割

初稿提出時

- デザインカンブにどうしても合わせられない部分

- 明らかにデザインがおかしいのでは？と疑問に思う部分
- PCとSPでテキストやデザインが異なっている部分
- コーダーの判断でデザインと異なる実装をした部分
- 同じパーツでクラス名を使いまわしたときに「若干」でもズレが生じる部分
- その他疑問に思ったこと
- 相手（先方）に確認してほしい箇所

これらを各ページ、**各ページ・セクションごとにスクショと合わせて**管理して提出時にまとめて報告します。